

【医療通訳基礎技能認定試験・受験申込書作成時の記載要領】

受験申込書の作成にあたっては、下記要領を熟読のうえ、黒の油性ボールペン（消せるボールペンは不可）を使用し、作成すること。

誤りの無いよう楷書で丁寧に記入し、記入を誤った場合は、受験者本人が訂正箇所にも二重線を引き、訂正すること。訂正印は不要。

※記載内容に不備があった場合は、受理（受験）できないことがあるので注意すること。

■下記①～⑫の事項に留意し、記入すること。

①記入日

受験申込書の記入日（西暦）を記入すること。

②試験日

希望する試験日（西暦）を記入すること。

③試験種別（受験経験）

選択する種別にを記入すること。また、該当する受験経験にを記入すること。

④氏名・フリガナ

楷書で正確に記入し、略字は使用しないこと。

氏名がひらがな、カタカナの場合でも、フリガナはカタカナで記入すること。

特殊な漢字（画数が多く複雑なもの・微妙な違いで別の漢字になるもの・旧字体・異体字・別字体・中国語字体など）については特に注意して記入すること。

日本国籍を有しない者は「在留カード」もしくは「特別永住者証明書」に記載される文字で正確に記入すること。

⑤性別

該当するものにを記入すること。

⑥生年月日

西暦で記入すること。

⑦年齢（満）

年齢の基準日は受験申込書記入日とし、満年齢を記入すること。

⑧母語（第一言語）

母語（第一言語）を記入すること。

⑨現住所・電話・携帯電話・Eメール

都道府県名から番地、またマンション等の場合は号数まで記入すること。

試験結果を通知する送付先の住所となるので、詳細に正確に記入すること。

必ず受験者本人の電話番号または携帯電話番号、Eメールアドレスを記入すること。

Eメールアドレスは、ハイフン、アンダーバー、ドット、数字の1とアルファベットのLなど、間違えやすいものについては特に注意して記入すること。（日本医療教育財団よりEメールで試験実施に関する案内等の連絡を行うことがあるため、Eメールアドレスは必ずご記入ください）

⑩受験資格

- 「医療通訳基礎技能認定試験受験資格に関する教育訓練ガイドライン」に適合すると認める研修・講座等を履修した者 *修了証書等（コピー可）を添付してください
- 通訳に関する実務経験（医療通訳を含むすべての通訳）を目安の件数もしくは時間数以上有する者 *実務経験証明書を添付してください
- 認定委員会が前各号と同等と認める者 *事前申請・承認が必要です

⑪希望受験言語

希望するものにを記入すること。

受験申込後に受験言語の変更はできません。

⑫希望受験地

希望するものにを記入すること。

受験申込後に受験地の変更はできません。

原則として、1次試験と2次試験で同一の受験地とすること。

※福岡で1次試験を受験された方が2次試験を受験する場合は、東京・大阪のいずれかを選択してください。

[受験申込みに際しての注意事項]

※提出された証明書および写真（2次試験受験申込者のみ）等は返却いたしません。

※納入された受験料は、いかなる場合も返還いたしません。

※受験申込書類の受取確認はできません。簡易書留にて送付のうえ郵便局の追跡サービスにてご確認ください。